

報告書記入上の注意事項

建設資材廃棄物引渡完了報告書

令和〇年 〇月 〇日

明石市長 様
注文者 様

報告者は元請業者又は自主施工者です。

報告者 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

建設リサイクル法に基づき、届出を行った解体工事等の概要です。

氏名

最後に処分業者へ引渡し完了したマニフェストの運搬終了年月日です。その日から15日以内に報告しなければなりません。

解体工事等の名称	家屋解体工事、〇〇道路補修工事、〇〇管布設替工事、等		
解体工事等の場所	明石市大久保町松陰××		
建築物等の構造	木造、鉄骨	解体工事対象床面積	100 m ²
解体工事等の請負代金	※1	引渡完了年月日	令和〇年〇月〇日
建設資材廃棄物の処理費用	運搬費 ※2	処分費 ※2	合計 ※2
建設資材廃棄物の種類	木くず	搬出先事業場の名称	(株)〇〇産業 ※3
		搬出先事業場の所在地	兵庫県明石市△△町××
		引渡量	50 t
	木くず	搬出先事業場の名称	(有)〇〇工業
		搬出先事業場の所在地	神戸市□□町××
		引渡量	20 t
	がれき類 (コンクリート殻)	搬出先事業場の名称	マニフェストに記載した ①搬出先事業場の名称 ②搬出先事業場の所在地 ③引渡量を記入してください。 搬出先が異なる場合は、2段書きにしてください。
		搬出先事業場の所在地	
		引渡量	
	がれき類 (アスファルト殻)	搬出先事業場の名称	
		搬出先事業場の所在地	
		引渡量	
金属くず	搬出先事業場の名称		
	搬出先事業場の所在地		
	引渡量		
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	搬出先事業場の名称		
	搬出先事業場の所在地		
	引渡量		

- 注 1 「解体工事対象床面積」の欄には、建築物の解体工事の場合において、当該解体工事に係る部分の床面積の合計を記入してください。
- 2 木くず、がれき類（コンクリート殻）、がれき類（アスファルト殻）及び金属くず以外の建設資材廃棄物については、「建設資材廃棄物の種類」の欄に当該建設資材廃棄物の種類を記入してください。

- ※1 解体工事以外の工事であっても、契約請負金額を記入してください。自主施工者の場合は、請負代金の記載は不要です。
- ※2 建設資材廃棄物の処理費用は、収集運搬業者、処分業者との委託契約をもとに記載してください。
- ※3 解体工事契約書の写し、収集運搬契約書の写し及び処分委託契約書の写しを添付した場合は、該当する契約書記載事項は省略できます。「別添契約書のとおり」と記入してください。引渡完了年月日、引渡量は省略できません。
- ※4 紙マニフェストの場合は、B2 票写し（積替え保管有の場合は B4 票）、電子マニフェストの場合は、JWNET で出力できる受渡確認票等を添付してください。